

保健師便り

Vol.90

早期発見が大事！大腸がん

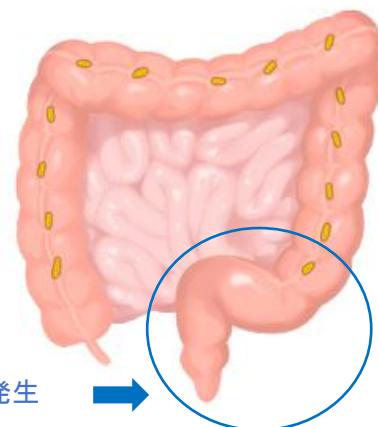
2026.1

今回は大腸がんの原因、症状、治療についてお伝えします。

○大腸がんはどんな病気・・・？

大腸がんは大腸(結腸・直腸・肛門)に発生するがんです。

便が長い間貯留している S 状結腸と直腸にがんができやすいといわれています。



○大腸がんのリスク要因

大腸がんの発生に関しては様々な生活習慣が影響を及ぼしていることが分かっています。そのほか、家族で大腸がんになった方がいる場合や潰瘍性大腸炎を長期間患うことでも大腸がんのリスクを高めます。

■生活習慣

- 肥満 ○アルコールのとりすぎ ○運動不足 ○喫煙
- 食物纖維不足 ○動物性脂肪のとりすぎ

■加齢

■遺伝

など



○大腸がんの症状

早期の段階では自覚症状はほとんどありません。

進行すると、便に血が混じる(血便や下血)、便の表面に血液が付着するなどの症状があらわれます。また、貧血の症状(めまいなど)や、便秘や下痢、便が細くなる、便が残る感じがする、おなかが張るなどの症状があらわれます。さらに進行すると、腸閉塞となり、便が出なくなって、腹痛や嘔吐などの症状が起こります。

○大腸がんの治療

治療には、内視鏡治療、手術、薬物療法、免疫療法、放射線治療などがあります。

治療は、がんの進行の程度を示すステージ(病期)やがんの性質、体の状態などに基づいて検討されますが、基本的に早期がん(がんの深さが浅い場合)は、**内視鏡で切除することが可能**といわれています。

進行したがんは開腹(おなかを切って治療する)手術や抗がん剤治療、人工肛門の処置などが必要になる場合があり、体にとって大きな負担となります。**負担の少ない内視鏡で対応できる状態で病気を発見したい**ものです。次回は大腸がんの予防、検診についてです。



<参考・引用文献>

[大腸がん検診 | 知っておきたいがん検診](#)

[大腸がん（結腸がん・直腸がん）について：\[国立がん研究センター がん情報サービス 一般の方へ\]](#)



一般財団法人

京浜保健衛生協会

FOR HEALTHY LIFE

この記事は、神奈川県川崎市高津区にある健診機関「京浜保健衛生協会」が執筆・監修しています。人間ドック/巡回健診/女性のための健診/がん検診など、健診でお悩みの際はお気軽にご相談ください。



一般財団法人 京浜保健衛生協会